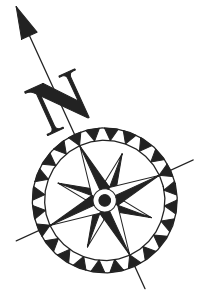
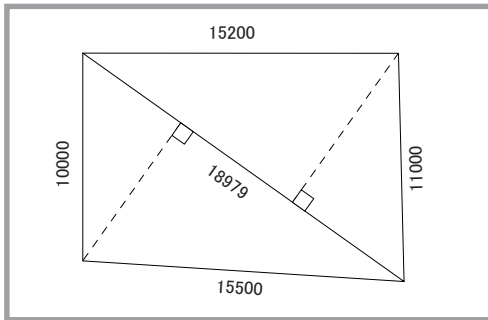
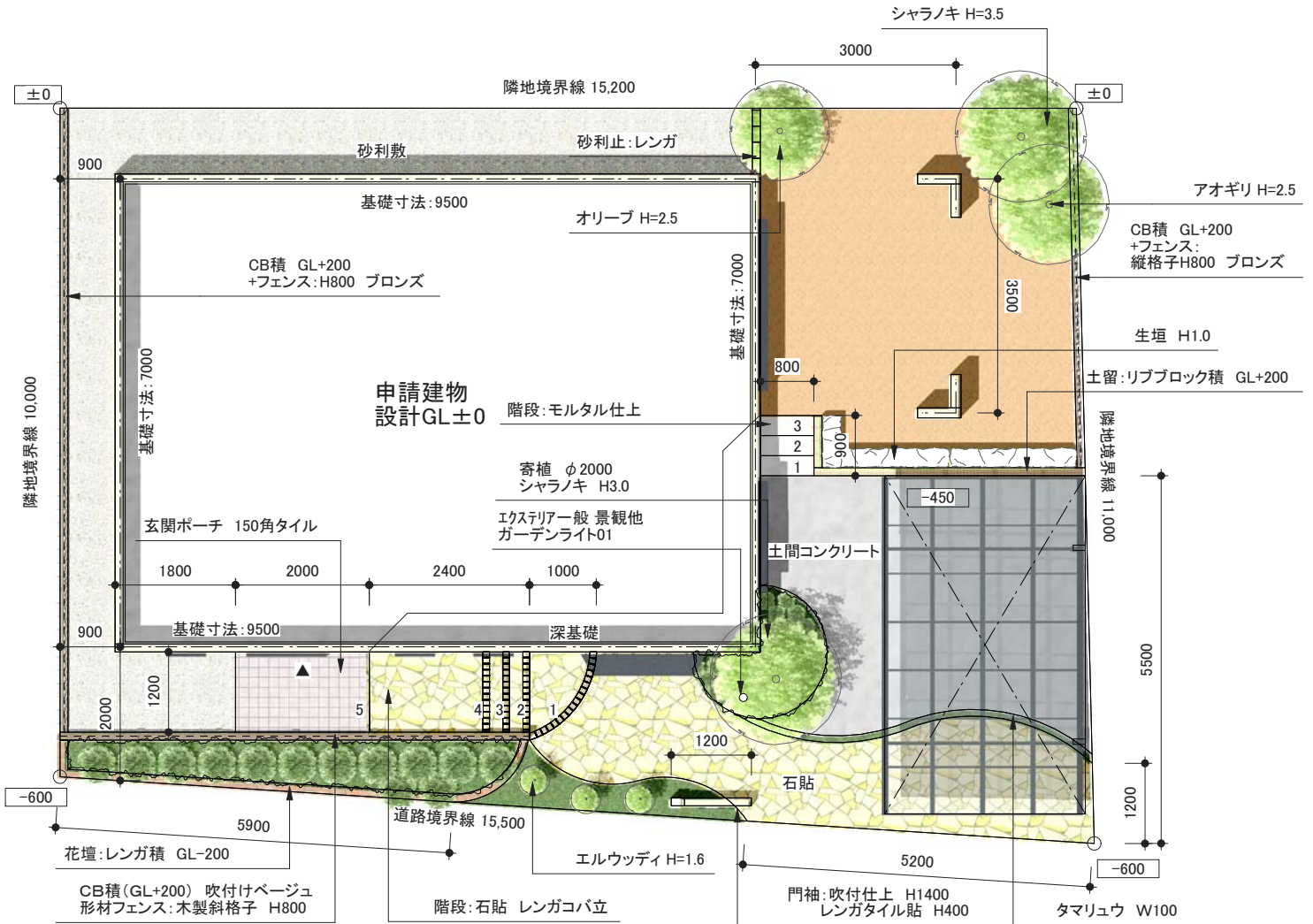


# 練習プラン3 下図のプランを作図してみましょう。

縮尺：1/100の図面です。  
 立面図・パースはArt仕上げとなっております。

**!** わからない時は「webマニュアル テキスト eE-CAD9 各仕様の練習プラン3」をご参照下さい。



# 練習プラン3

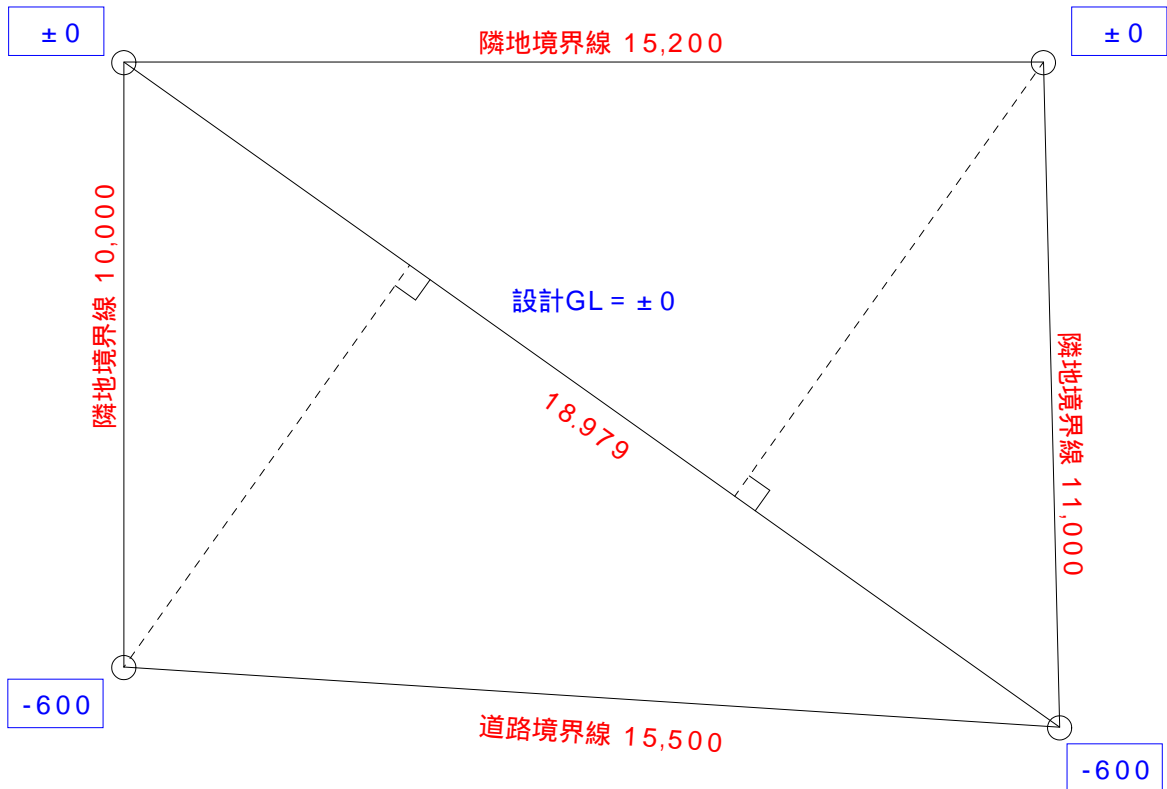
下図のプランを作図してみましょう。

立面図・パースはArt仕上げとなっております。



# 敷地

下の寸法を元に三斜を使って敷地を入力してみましょう。

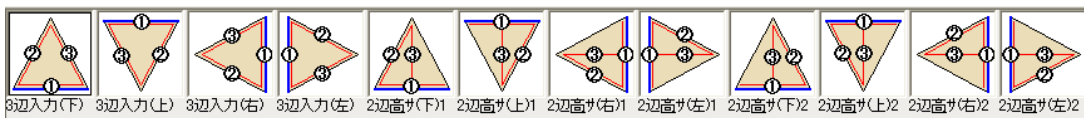


**三斜入力方法：** 三斜を使った敷地入力方法は下記の2通りあります。

## その1 敷地三斜使用

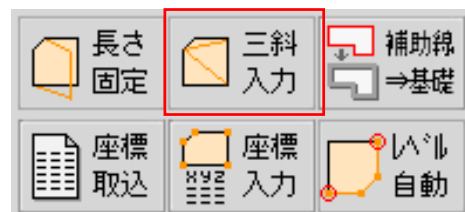
敷地三斜

登録されている三角形の組み合わせで一度に作成する方法です。



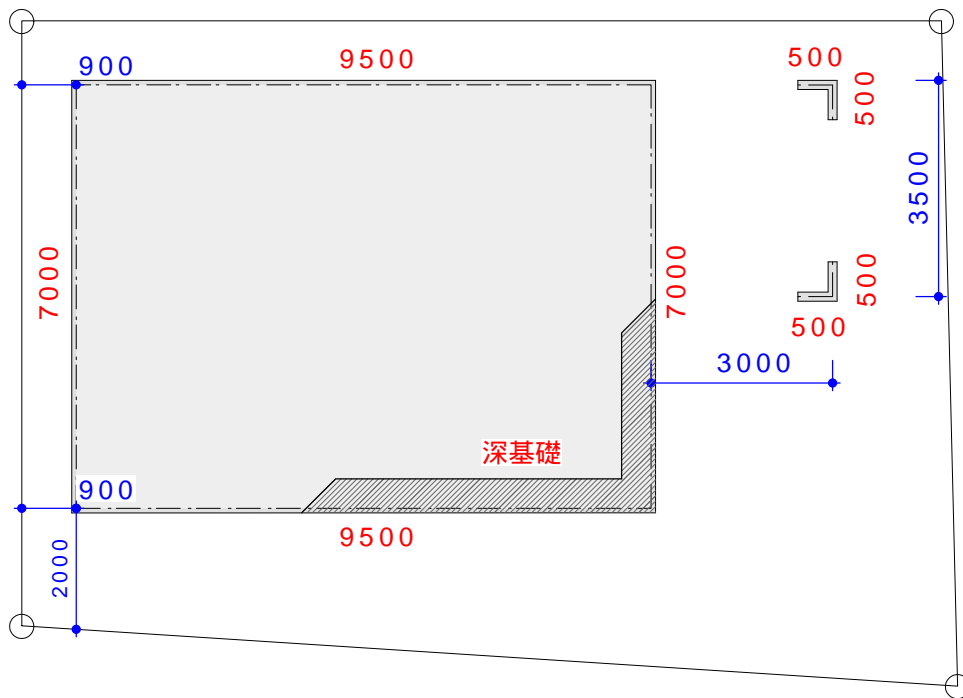
## その2 三斜入力機能使用

敷地地形を使って境界の寸法を決め、後から三斜の設定をする方法です。



# 基礎

下の寸法を元に手書き補助線を使って基礎を作成し、配置してみましょう。



**補助線基礎変換：** 基礎形状の登録がなかった場合や袖壁などの作成方法です。

## 基礎形状作成

『手書き(寸法)』補助線で基礎の形状を作成します。

手書き(寸法)

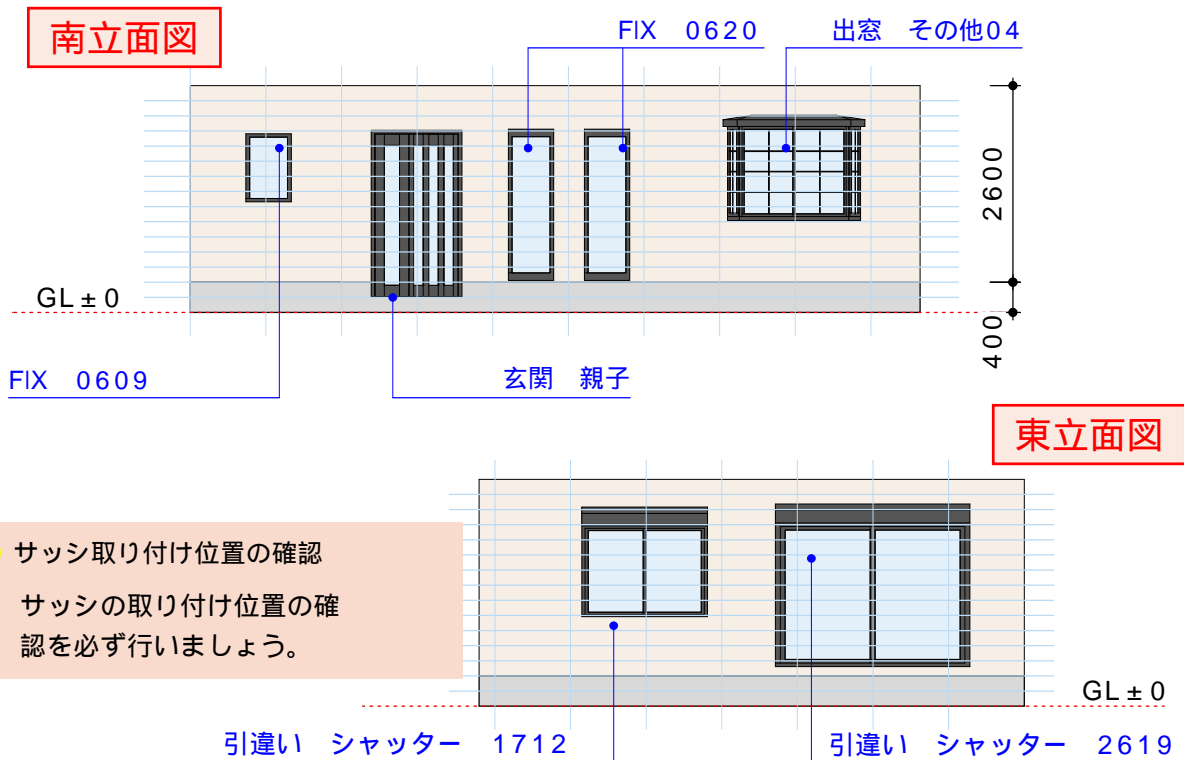
## 補助線を基礎に変換

で作成した補助線を基礎に変換します。



# 建物1F入力

塀ユニットを使って建物の1F部分を作成します。



**建物1F入力：** シンボルの『製品』で住宅外観からサッシの取り付けができます。

## 塀ユニット入力

基礎形状に合わせて塀ユニットを入力します。

## 塀の設定

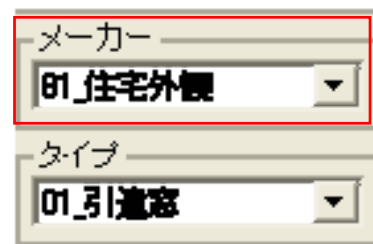
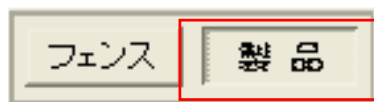
で入力した塀ユニットを全て選択し塀デザイナー画面で設定のコピー＆ペーストをします。

設定のコピー : Ctrl + C

設定のペースト : Ctrl + V

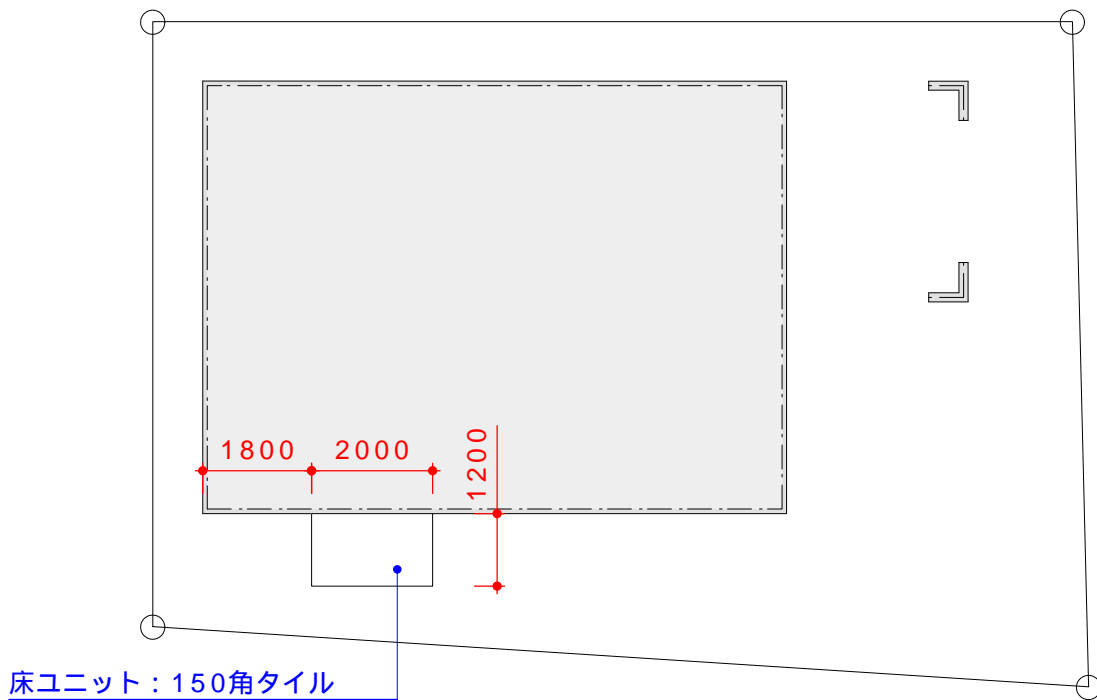
## サッシ入力

シンボル作業の『製品』設定でサッシを選択し入力します。



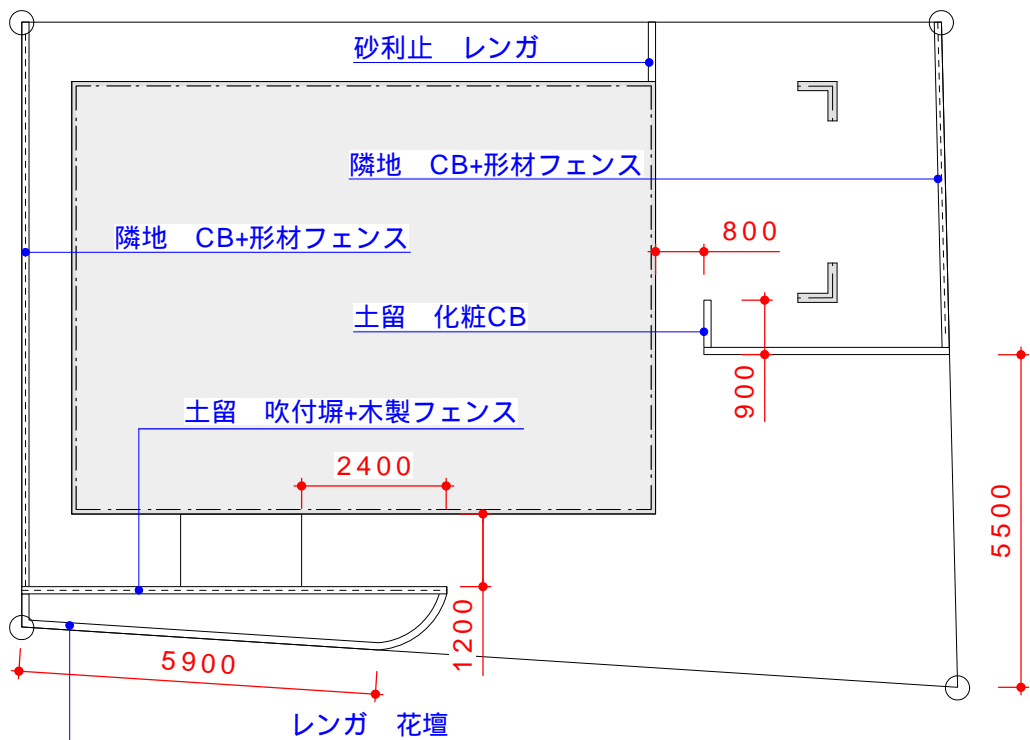
# 玄関ポーチ入力

下の図を参考に補助線を入力し玄関ポーチを作成しましょう。



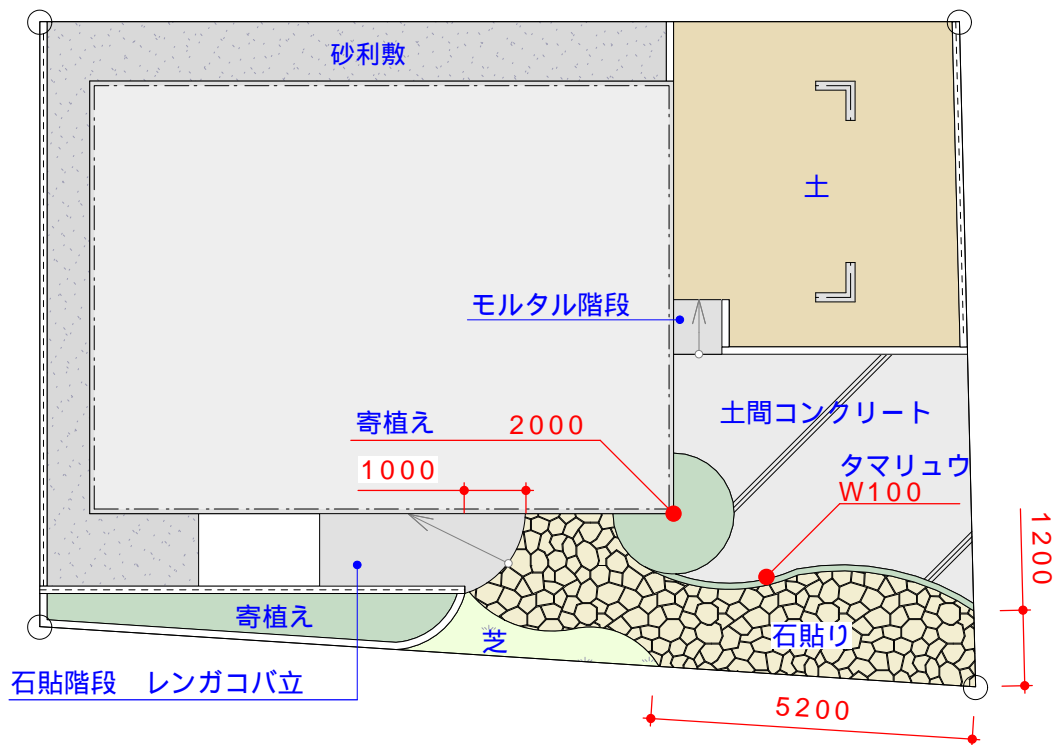
# 塀ユニット入力\_1

下の図を参考に寸法どおり補助線を入力し、目的に合った塀ユニットを入力してみましょう。



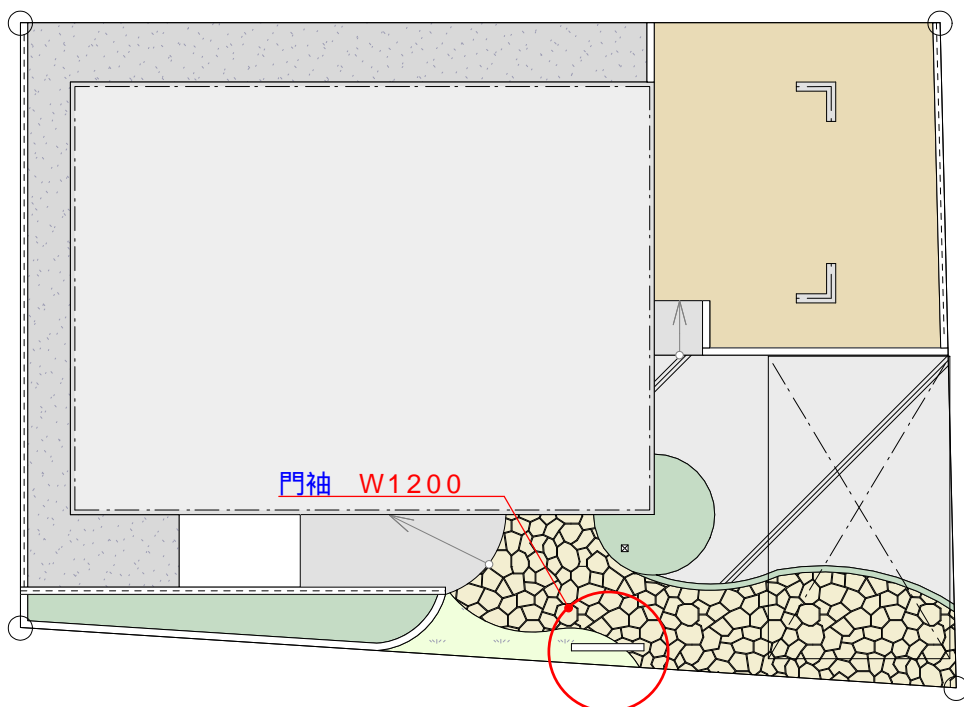
# 床ユニット入力

下の図を参考に補助線を入力し床ユニットを入力してみましょう。



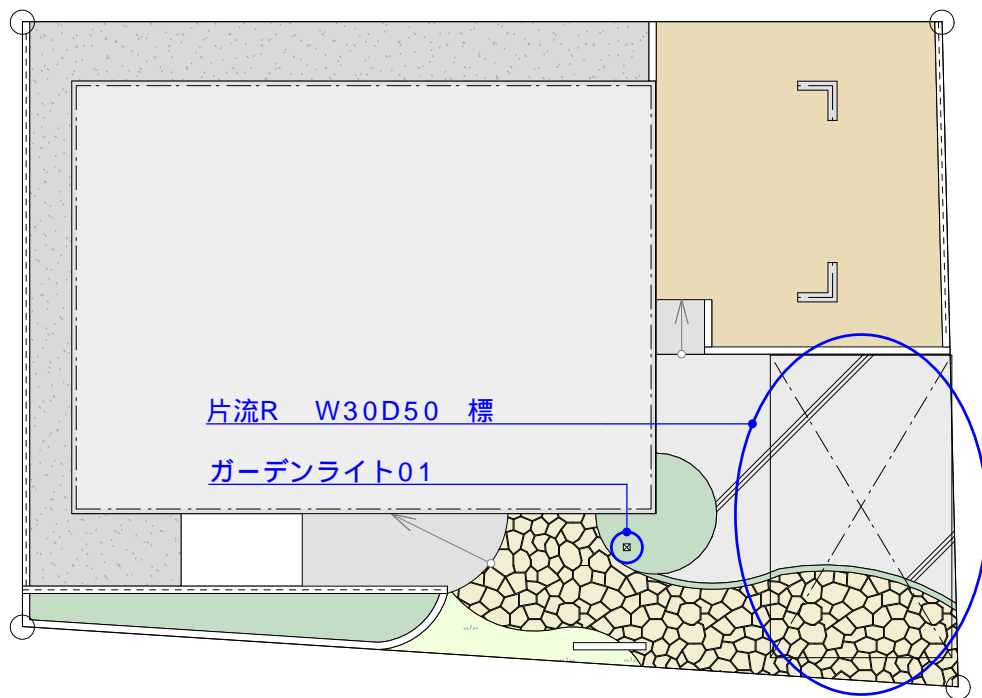
# 塀ユニット入力\_2

下の図を参考に塀ユニットを入力してみましょう。



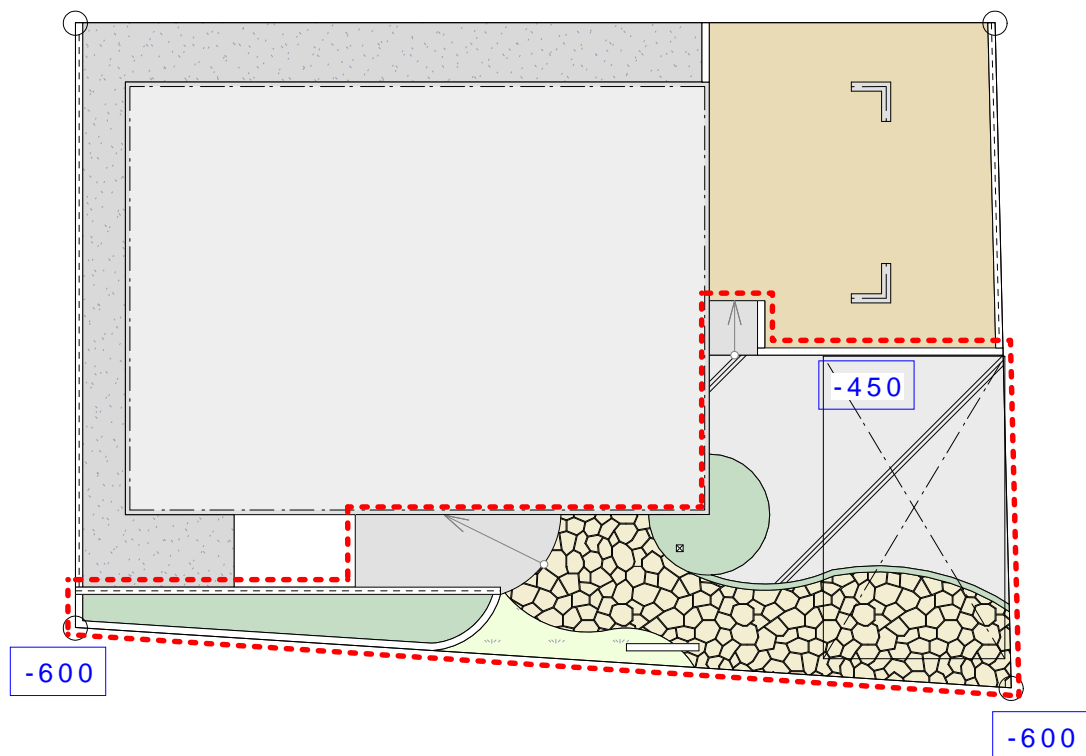
# 製品入力

下の図を参考に製品を入力してみましょう。



## レベル一括変換\_1

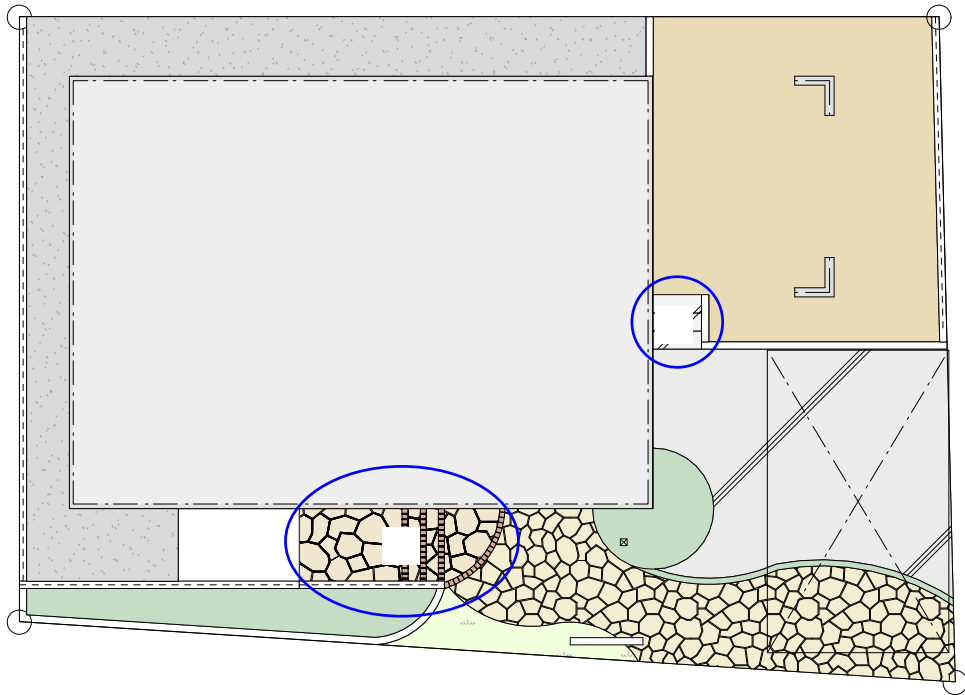
下の図のレベルに合わせて土間勾配とシンボルの配置レベルの設定をしてみましょう。



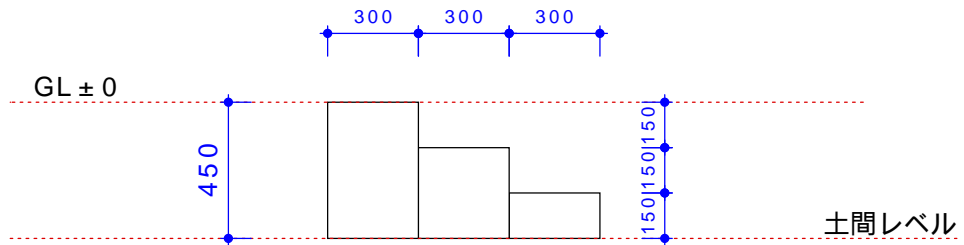


# 階段設定

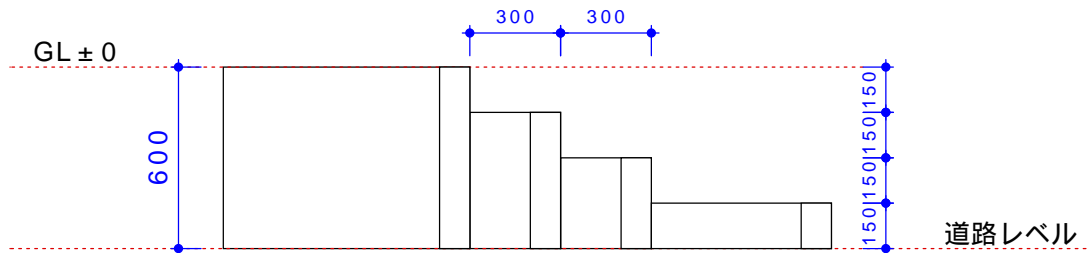
下の図を参考に階段の設定をしてみましょう。



## 勝手口階段

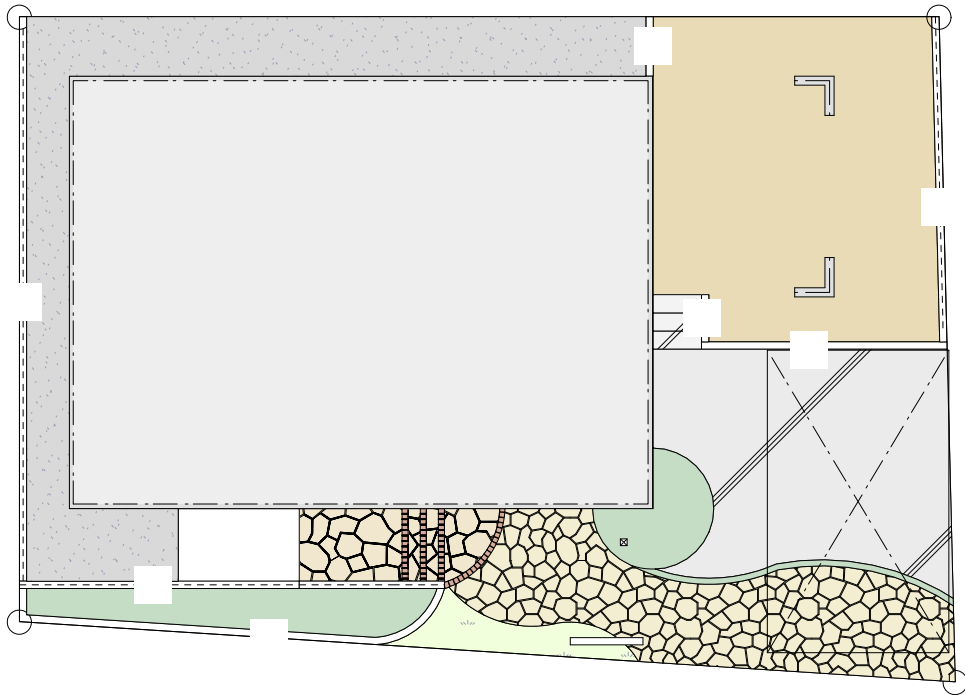


## 正面階段

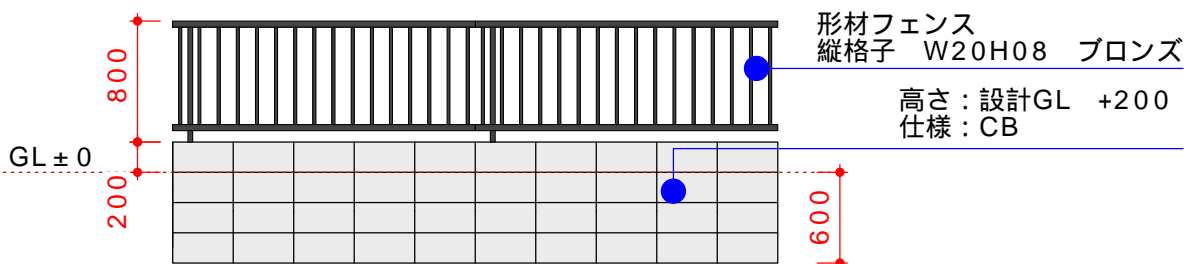


# 塀ユニット設定\_1

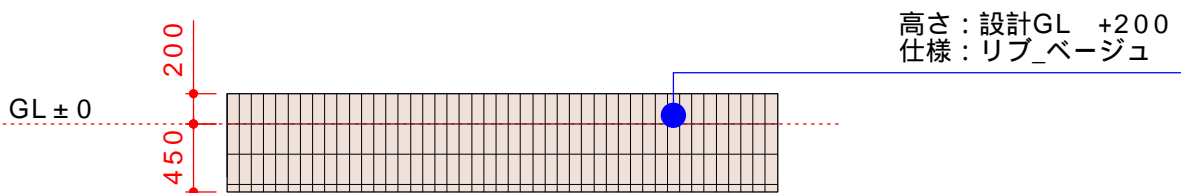
下の図を参考に塀の設定をしてみましょう。

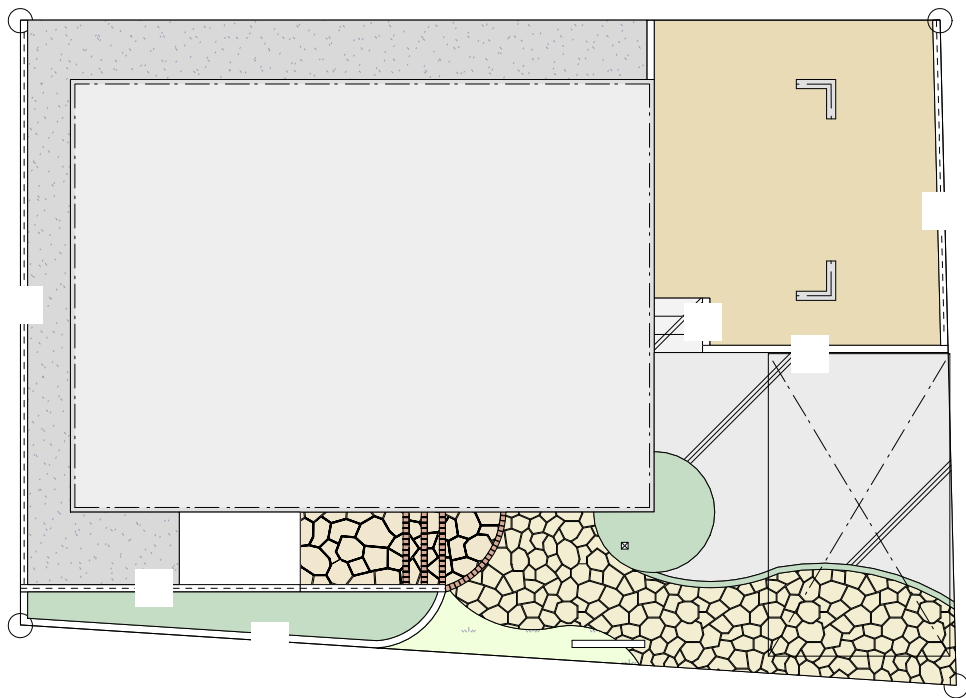


## 隣地塀

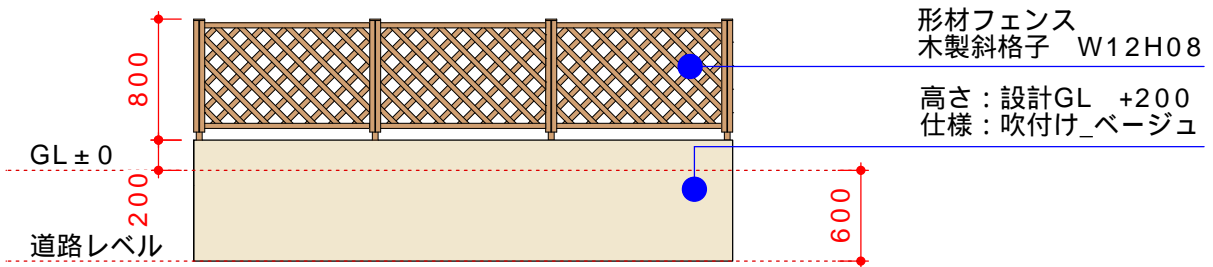


## 土留め

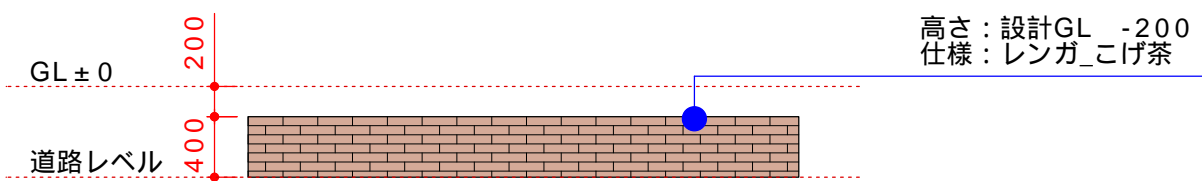




### 土留め

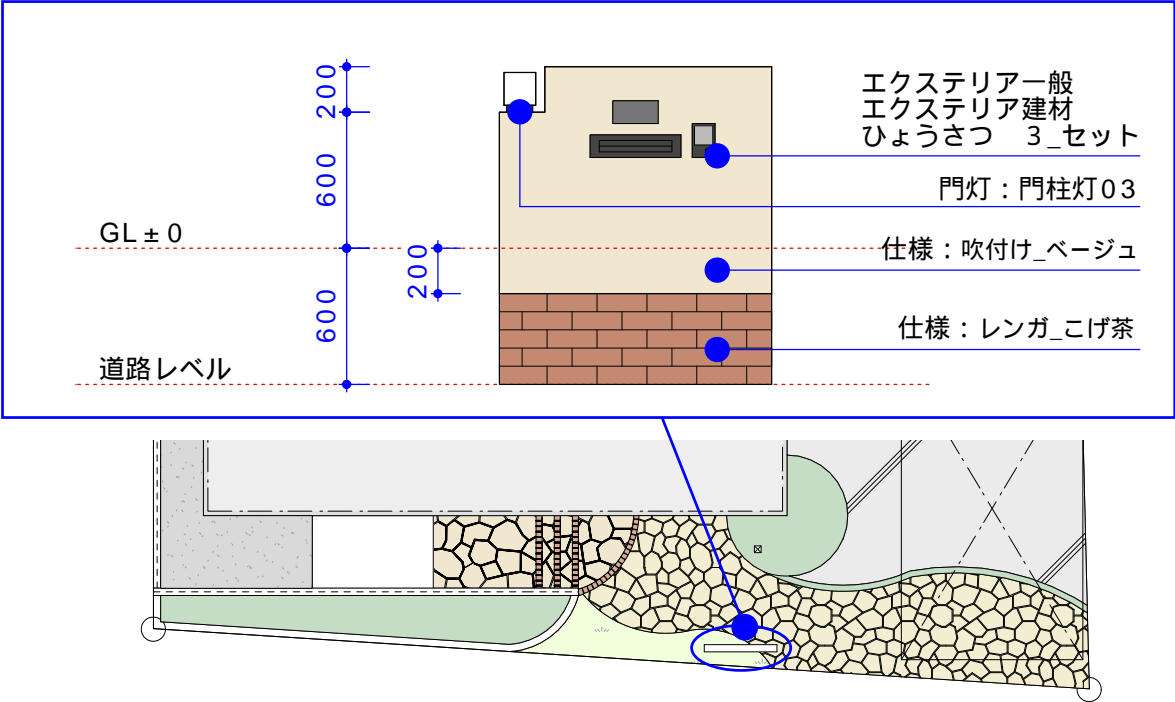


### 花壇



# 塀ユニット設定\_2

下の図を参考に壁型を使って門袖を作成してみましょう。



**壁型挿入方法：** 壁型を使用してデザイン塀の作成をします。

**高さ設定**

デザイン塀の最も高い塀の高さを設定しておきます。

**壁型挿入**

壁型を挿入し、設定を行います。

**巾木設定方法：** 目地工程で巾木の設定を行います。

**巾木設定**

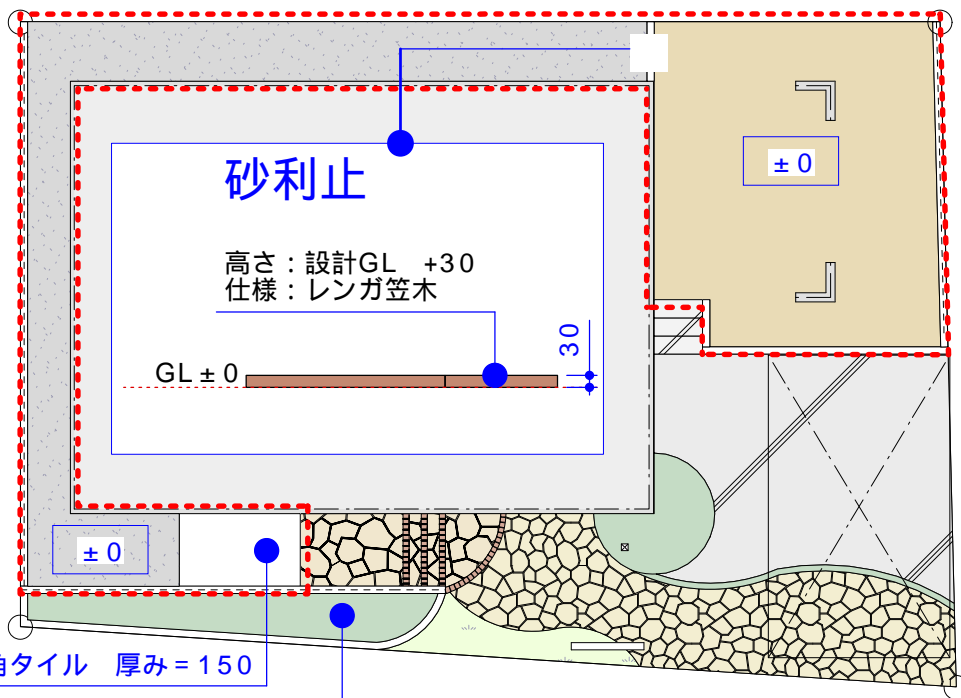
巾木の高さなどの設定をします。

**仕様設定**

目地を挿入し素材設定を行います。

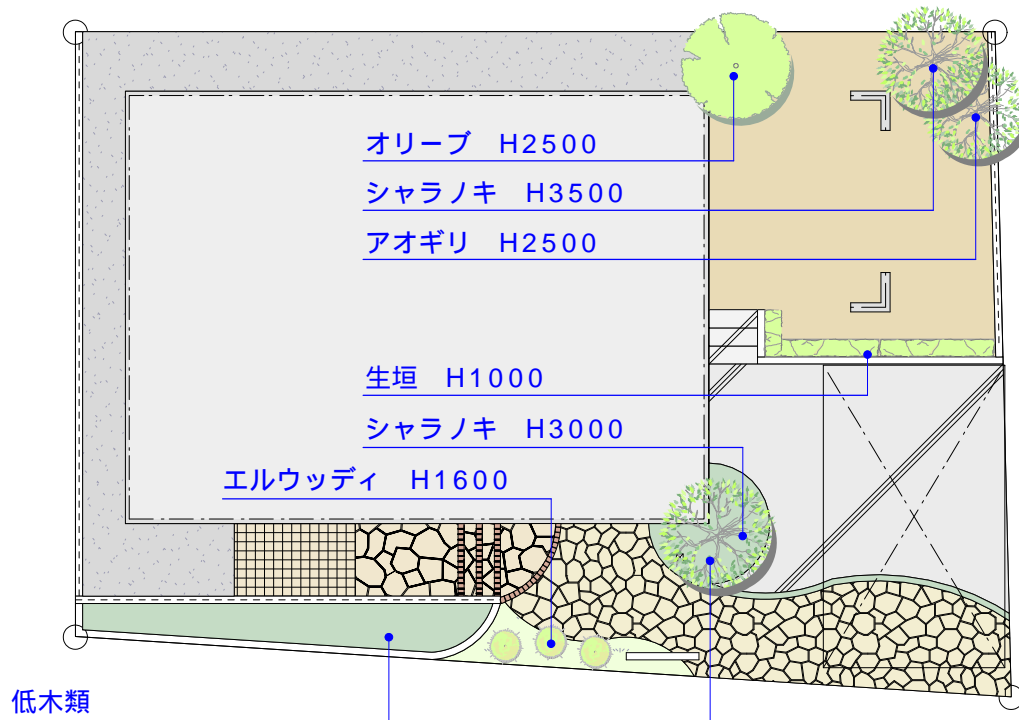
# レベル一括変換\_2 & 砂利止設定

レベル一括変換を利用して床ユニットのレベルを設定し、砂利止の設定をしてみましょう。



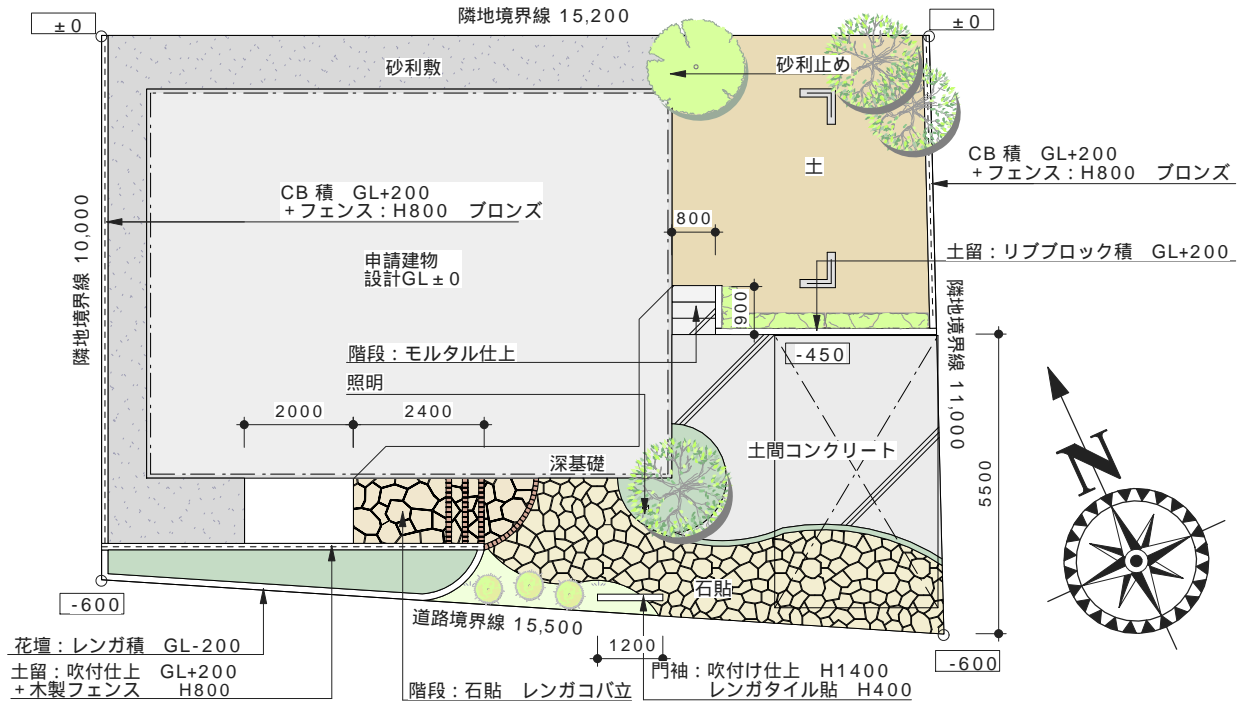
## 植栽入力

下の図を参考に植栽を入力してみましょう。



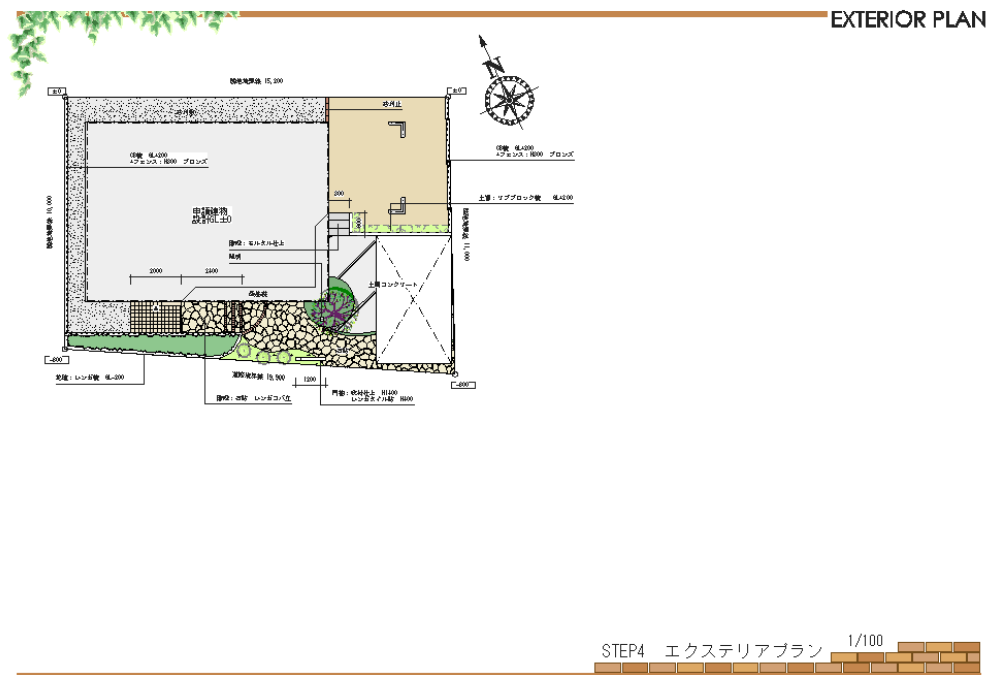
# 平面注釈入力

下の図を参考に平面図に注釈を入力してみましょう。 ~eE-Painter仕上げ~  
**アーケレンダー仕上は 練習プラン3-30~を参照**



# 図枠入力

下図を参考に図枠を挿入し、邸名を入力をしてみましょう。

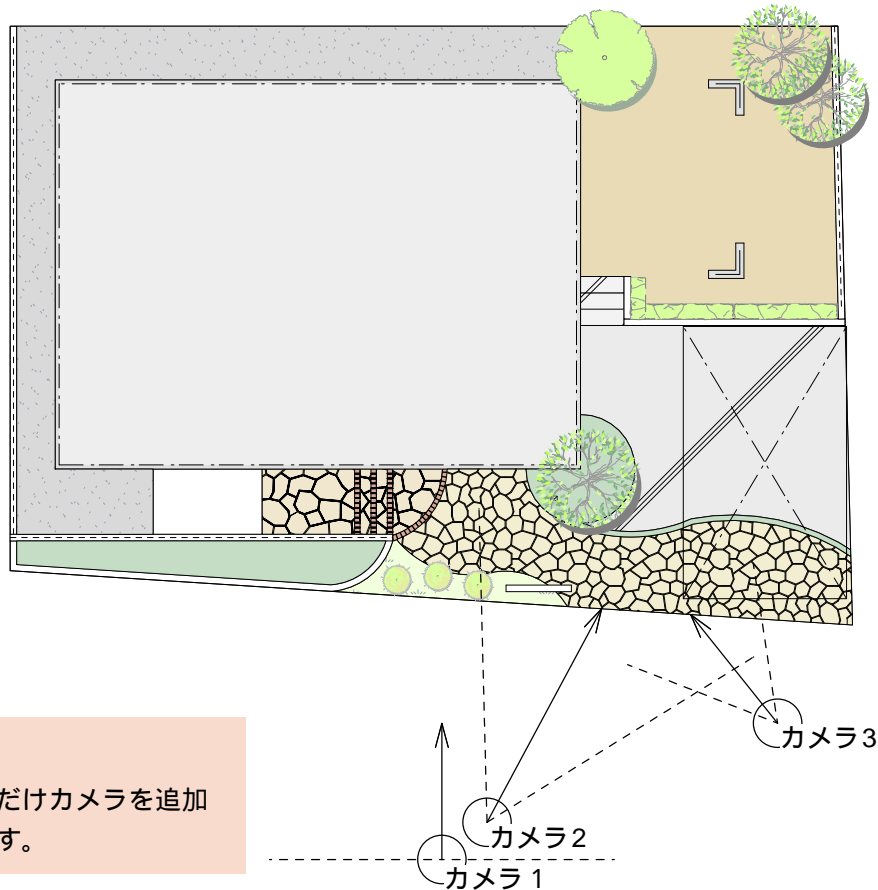


# カメラ配置 ~ eE-Painter起動

下の図を参考に立面図、パース用のカメラの配置と設定後、仕上に移りましょう。

## カメラ設定

カメラ位置決定後、使用する視点に合わせてカメラの設定をします。



### ! カメラ追加

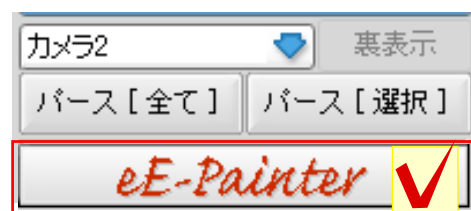
必要な視点の数だけカメラを追加し設定を行います。

### ! アンクル確認

画面右の『パース全て』ボタンをクリックし、配置したカメラからのアンクルの確認が行えます。

## eE-Painter起動

必要なカメラを全て配置後eE-Painterを起動します。



# 視点設定

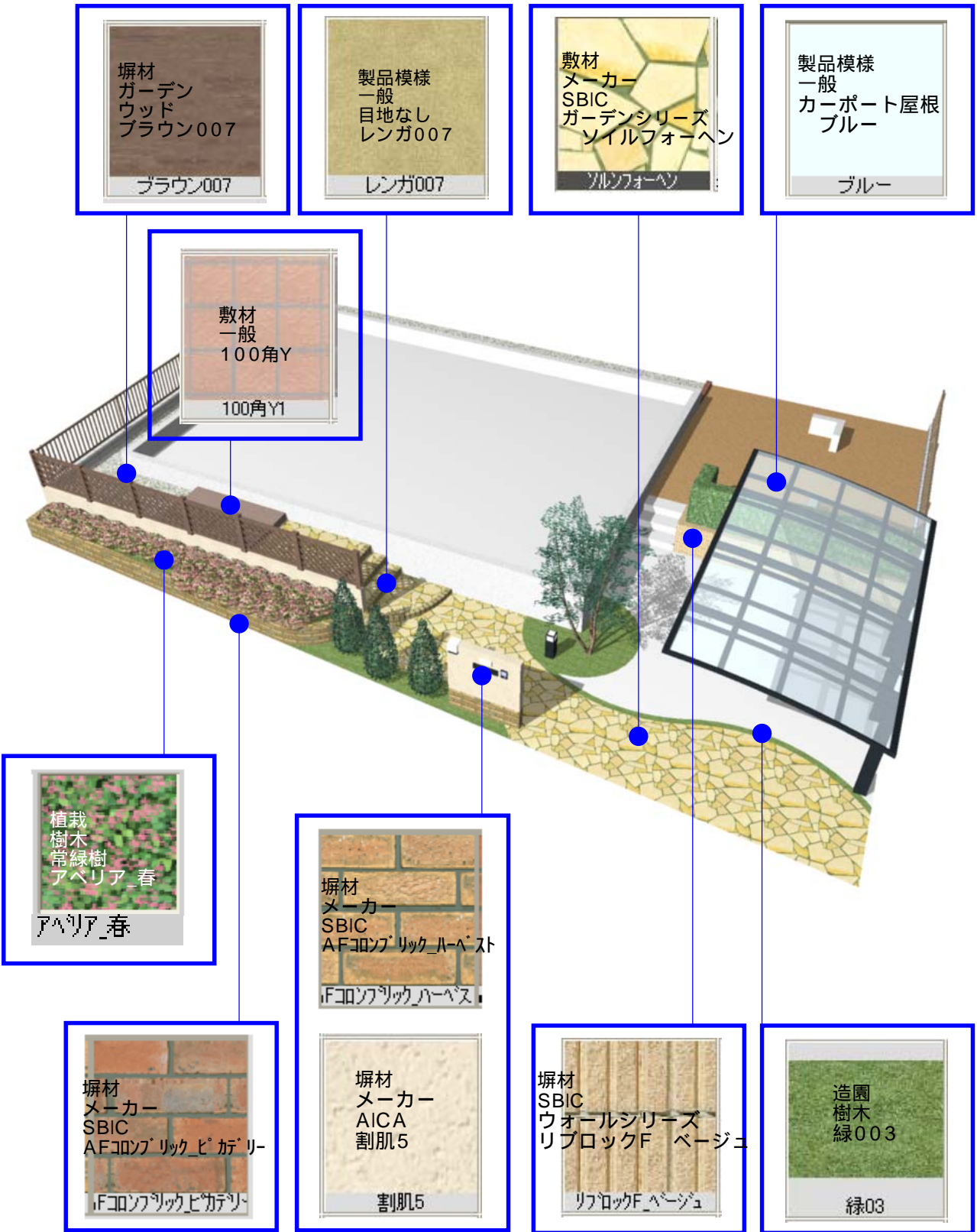
パンカーソルを使って下図を参考に視点の変更を行っていきましょう。





# テクスチャ設定

下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



**テクスチャサイズ変更：** 玄関ポーチのタイル目地を150角タイルに変更してみましょう。

選択

セレクションポイントツールでサイズ変更したい部分を選択します。



サイズ設定

テクスチャ設定欄でサイズを変更します。

**!** 表示サイズ

表示されている数値はブロックやタイル一枚分の大きさではありません。  
現在のサイズの何倍のサイズにしたいかで変更後の数値を入力します。



**オブジェクト張替え：** 同じ仕様設定のオブジェクトに別々のテクスチャが貼れます。

『Ctrl』キーを押しながらテクスチャを貼り付けます。



# 背景設定

背景に空のイメージを貼り付けることができます。



## 背景貼付け

ライブラリから背景画像を選択し背景ドラッグして貼り付けます。

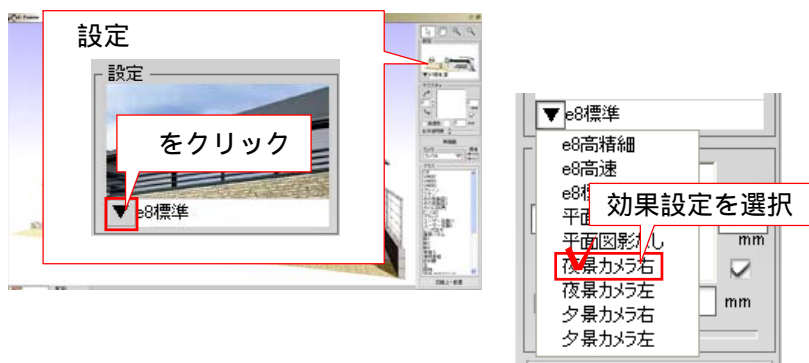


# 効果設定

レンダリング設定を変えて、光と影の演出をしてみましょう。



**効果設定：** 昼・夜・平面図用の光源を設定できます。



# レタッチ

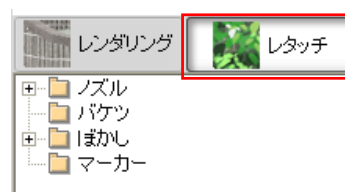
テクスチャの色味の変更や下草の描き込み、ぼかしの作業が行えます。



**静止画像作成：** レタッチを行うための静止画像を作成します。

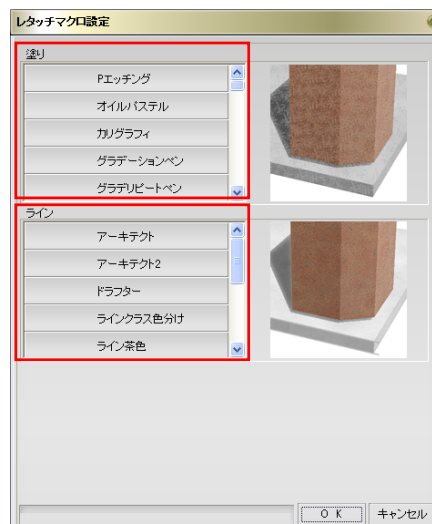
レタッチ切替

ライブラリをレタッチに切り替えます。



静止画像作成

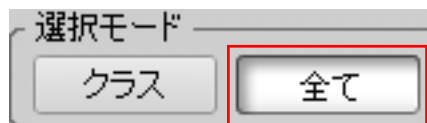
好みに合わせてレタッチマクロ設定を行い静止画像を作成します。



**ノズル(葉と花)：** 下草などの描き込みが行えます。

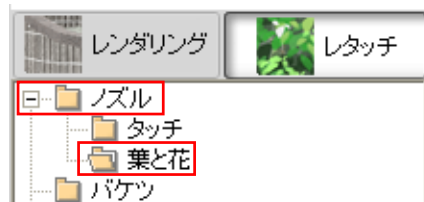
#### 着色範囲の選択

状況に合わせて選択モードを切り替えます。



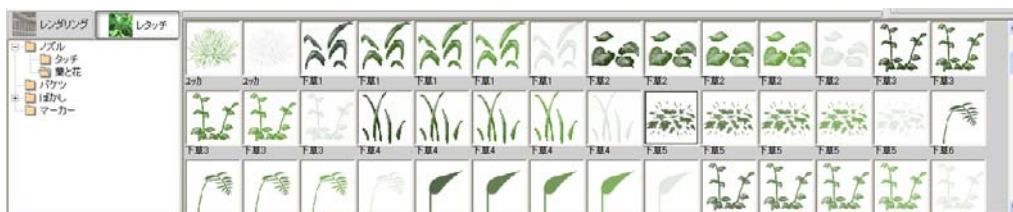
#### ノズル選択

ライブラリから着色モードのノズルを選択し『葉と花』のライブラリを開きます。



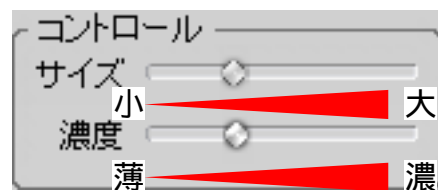
#### ノズルパターンの選択

葉や花などノズルのパターンをライブラリから選択します。



#### サイズ&濃度設定

選択したノズルの大きさと色の濃さをコントロールで設定します。



#### 着色

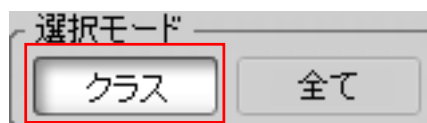
クリック、またはドラックでノズルを描き込みます。



**ノズル(タッチ)：** 植栽や塀などに点描をして立体感を出します。

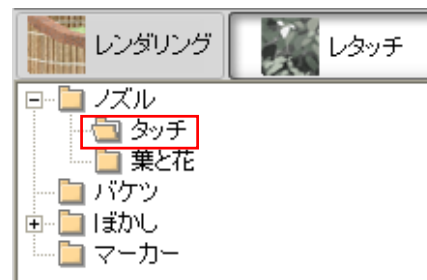
### 着色範囲の選択

状況に合わせて選択モードを切り替えます。



### ノズル選択

ライブラリから着色モードのノズルを選択し『タッチ』のライブラリを開きます。



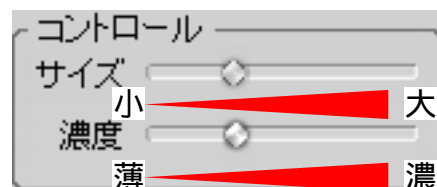
### ノズルパターンの選択

ライブラリから点描のノズルパターンを選択します。



### サイズ&濃度設定

選択したノズルの大きさと色の濃さをコントロールで設定します。



### 着色

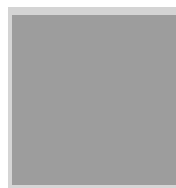
クリック、またはドラックでノズルを描き込みます。

#### ! 光の方向

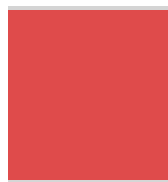
右手から光が当たっています。植栽などの右手にレタッチをしハイライトをノズルで入力するイメージで作業を行います。



**タッチ例1**：白に近いグレーの点描画レタッチで落ち着いた立体感のあるイメージに。



**タッチ例2**：赤の点描画レタッチで秋のイメージに。





**タッチ例3：** 明るい黄色の点描画レタッチで春から夏にかけてのイメージに。



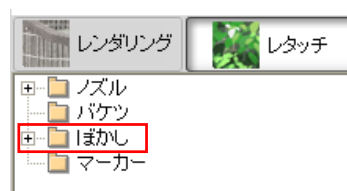
# ぼかし

静止画像にぼかしフレームを入力し静止画像の縁をぼかします。



## ぼかし選択

ライブラリから着色モードをぼかしに設定します。

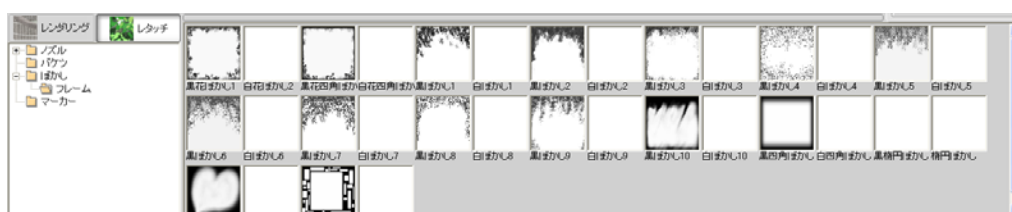


## ぼかし挿入

使用するフレームを選択し、作業画面でクリックして挿入します。

### ! 静止画像

ぼかしのみを行う場合は静止画像の作成を必ず行ってから実行します。



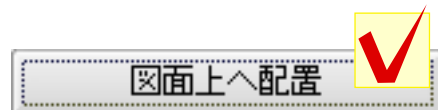
# 立面 & パースレイアウト

パースと立面図、平面図の静止画像を図面上に配置しレイアウトします。



**図面上へ配置：** レタッチした画像を図面上に配置します。

出力画像のサイズを設定し画像を図面上に配置します。



## 再レタッチ

パースの視点が複数ある場合は、レタッチ～レイアウトまでの作業を繰り返し行います。

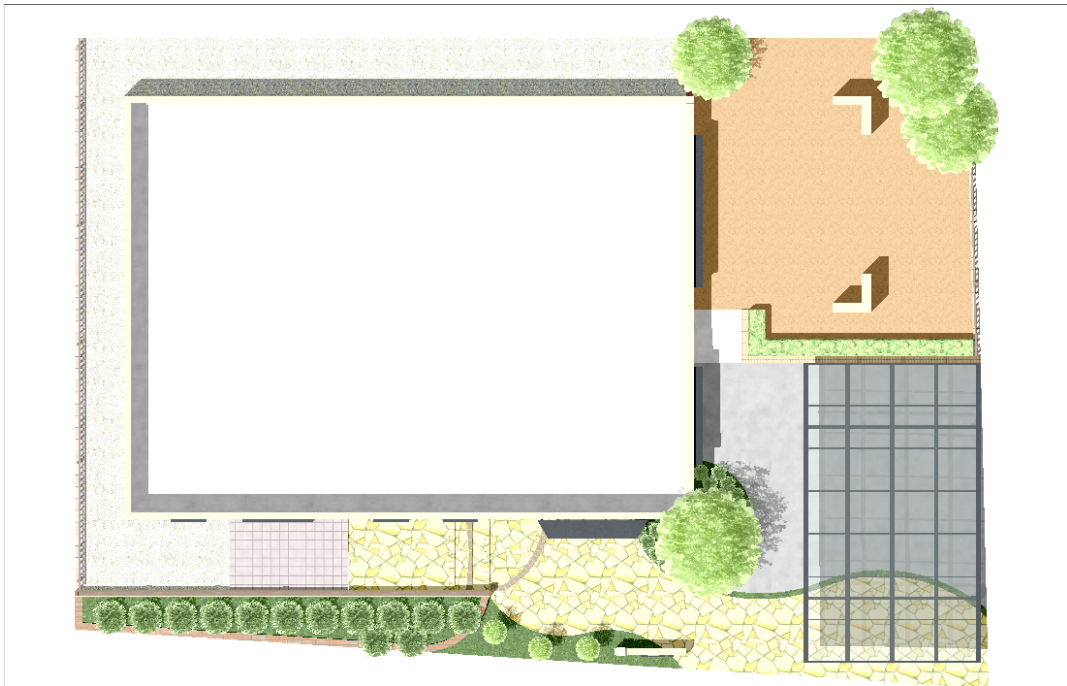
## 立面レイアウト

立面図の静止画像は『縮尺に合わせる』の設定で図面上に配置します。



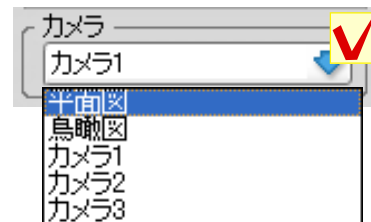
# 平面静止画像の作成

プレゼン用に平面図を静止画像で印刷することができます。



## 視点変更

カメラを『平面図』に切り替えます。



## レンダリング設定

画面右上の「設定」の をクリック  
します。

「平面・立面影あり」を選択します。

「再描画」をクリックすると視点が  
変化します。



## 図面上へ配置

縮尺に合わせて平面図の静止画像を図面上  
へ配置します。



# 立面注釈入力

立面図に金物の注釈を入力します。



木製フェンス H800

表札/ポスト/インターホン/門灯

カーポート W30D50

# プレゼン印刷

平面図を静止画像で印刷する際の印刷設定です。

注釈のみ表示

注釈レイヤのみを印刷できるように設定します。

表示メニュー

注釈のみ表示

用紙サイズ確認

図面の用紙サイズと縮尺の確認を行います。

ファイルメニュー

用紙の大きさ

プレビュー

印刷のレイアウト状態を確認します。

ファイルメニュー

プレビュー

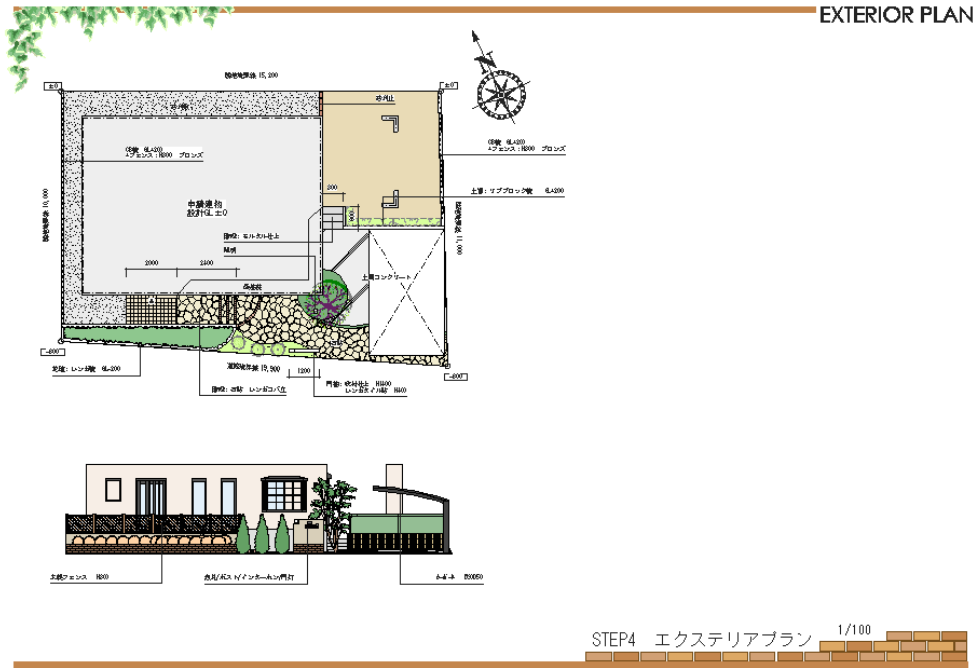
印刷

印刷を実行します。



# 図枠入力

下図を参考に図枠を挿入し、邸名を入力をしてみましょう。 ~アーレンダー仕上げ~



# 描き出し

作成したデータをVectorWorksに描き出し、印刷用データとして保存してみましょう。

## 描き出し

作成したeE-CADデータを  
VectorWorksに描き出します。

描き出し

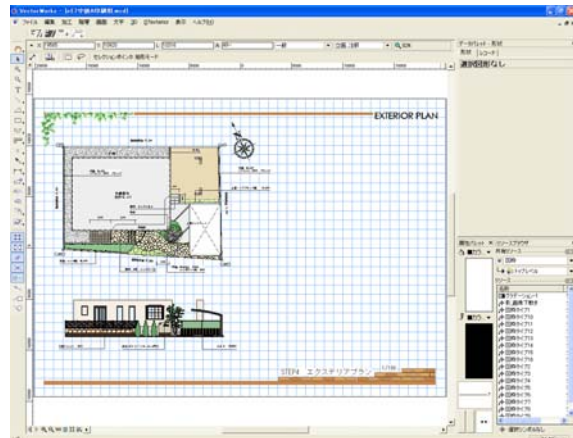
⚠ 描き出しボタンがない場合は  
『VectorWorks』から再度起動  
してください。

## 保存

描き出したデータを『印刷用』デー  
タとして保存します。

ファイルメニュー

保存



# 取り出し～アーレンダー起動

仕上用データを作成しアーレンダーを起動してみましょう。

作業画面切り替え

画面上の画面登録ポップアップから『アーレンダー仕上』画面に切り替えます。

3Dペインター/線画立面  
CGペインター仕上  
アーレンダー仕上  
レイアウト  
仕上印刷



取り出し

アーレンダーに取り出します。

ファイルメニュー

取り出す  
アーレンダー

CAD終了

VectorWorksを終了します。

ファイルメニュー

終了

アーレンダー起動

アーレンダーを起動します。

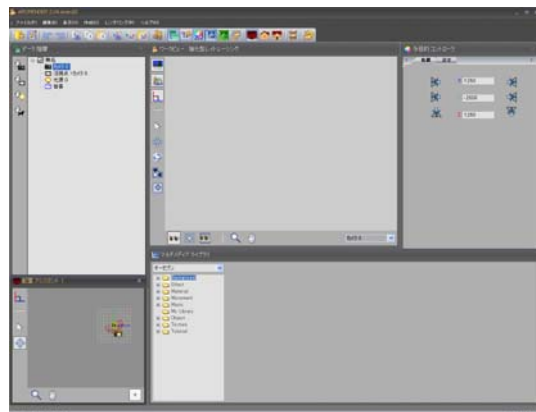


データを開く

仕上げ用データを開きます。

ファイルメニュー

開く



## 視点設定

多目的コントローラーでカメラの設定後、下図を参考にカメラを配置してみましょう。



## 光源(明るさ)設定

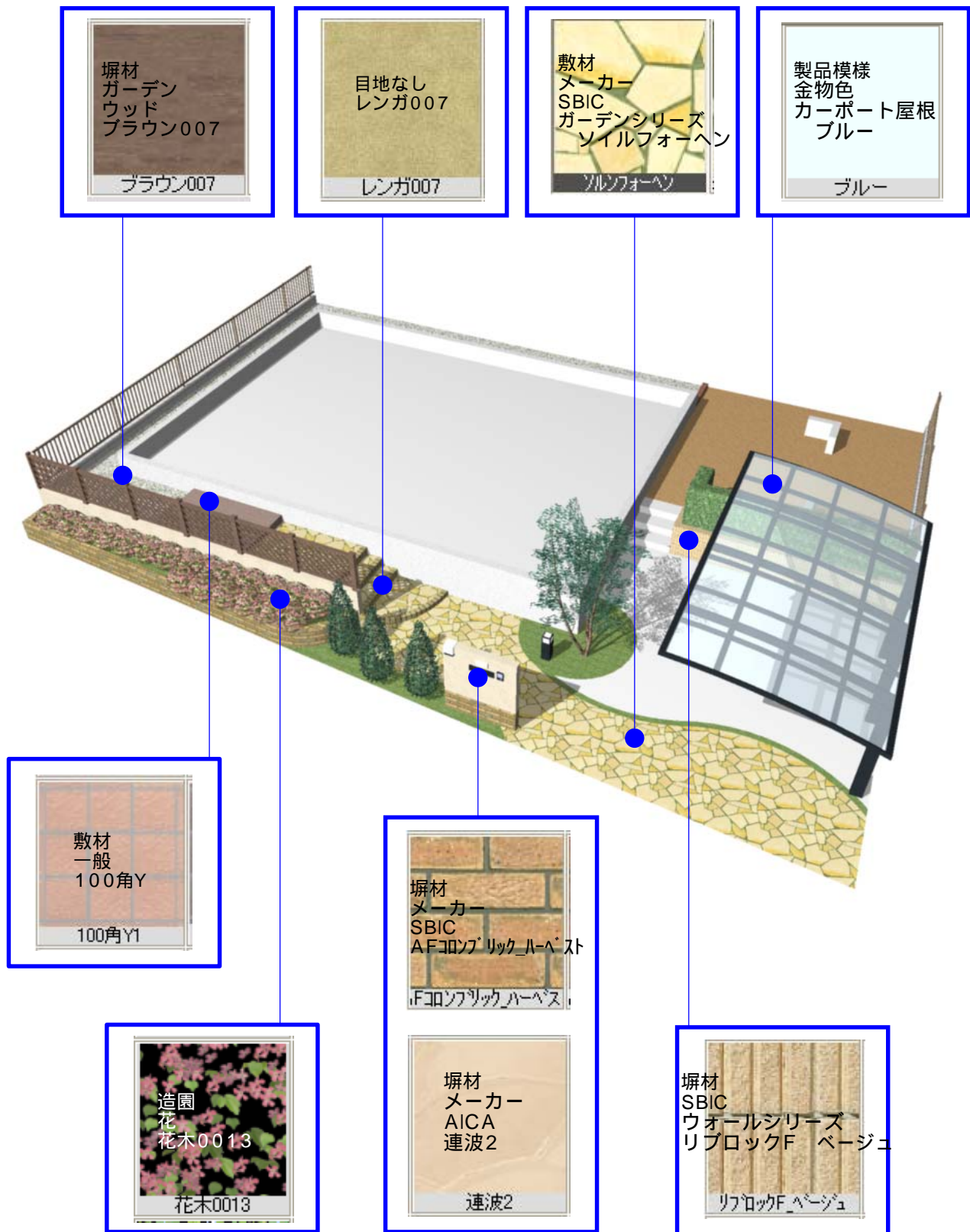
多目的コントローラーで光源の設定後、光源の位置決めをし立体感を出しましょう。





# テクスチャ & 背景設定

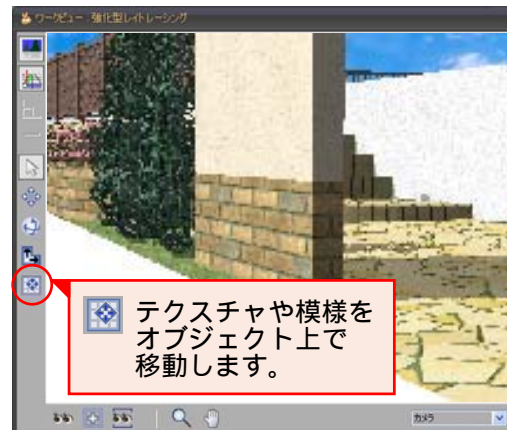
下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



**テクスチャ目地移動：** 目地の貼り始め位置を調整することができます。

ツール選択

テクスチャ移動ツールに切替ドラックで目地位置を合わせます。



**テクスチャサイズ変更：** 多目的コントローラーでサイズ変更ができます。

選択

サイズ変更したい部分を選択します。

サイズ設定

多目的コントローラーでサイズを変更します。



**背景を外す：** 一度貼り付けた背景を外すことができます。

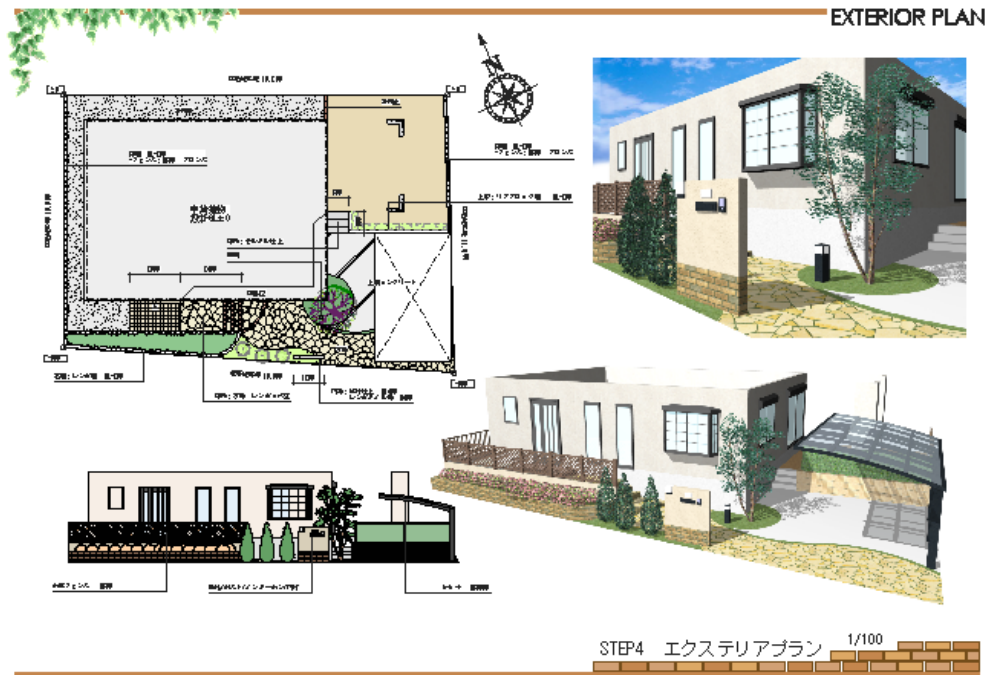
コントロール削除

多目的コントローラーで背景のテクスチャコントローラを削除します。



# レンダリング～レイアウト

静止画像を作成し印刷用データにレイアウトします。



## レンダリング

静止画像の作成し保存します。

## レンダリングメニュー

今すぐ静止画像レンダリング

## ファイルを開く

VectorWorksを起動し印刷用データを開きます。



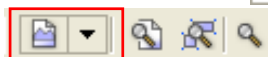
## ファイルメニュー

開く

## 作業画面切替

レイアウト画面に切替ます。

3Dペインター/線画立面  
CGペインター仕上  
アークレンダー仕上  
レイアウト  
仕上印刷



## 画像の取り込み

静止画像を印刷用データに取り込みます。

## ファイルメニュー

取り込み  
イメージファイル